

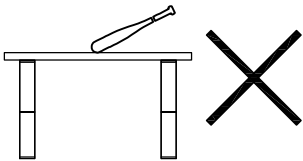
このたびは、ファンダライン「ミラテーブル」をお買い上げくださいまして有難うございました。  
下記の説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。また、ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

■施工上の注意事項

- ・2人以上で組み立ててください
- ・ボルト類の締め付けは全て確実に行ってください。
- ・付属の部品以外は使用しないでください。
- ・施工後、ボルト類のゆるみやガタつきなどがなければ点検してください。
- ・テーブルは基本的にコンクリート等へ付属している芯棒打込み式アンカー（オールアンカー）にて固定することを推奨します。

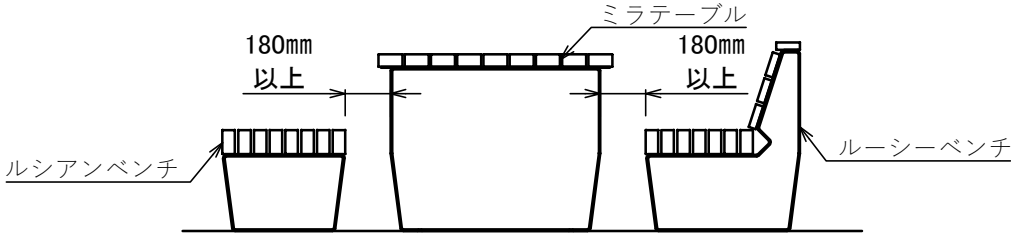
■使用上の注意事項

- ・テーブルの上に重量物を落したり、堅いもので叩いたりすると、表層材の割れ、へこみ、キズの原因となります。
  - ・テーブル本来の目的以外の用途で使用しないでください。
  - ・同色の製品間で若干の色のばらつきがありますので、予めご了承ください。
  - ・テーブルを火気使用箇所に設置しないでください。  
また、火のついたタバコを置いたり、近づけたりしないでください。
  - ・テーブルを保管する場合は、平らな屋内で保管をしてください。
  - ・雨シミができることがあります。製品に含まれる木粉中の成分に雨水が溶出してできるもののため、有害ではありません。
  - ・仕切りに傷、汚れが着いた場合は、＃60程度のサンドペーパーで削ることにより補修することができます。
- なお、強く何度も擦ると基材部が出てきますので、削りすぎには注意してください。

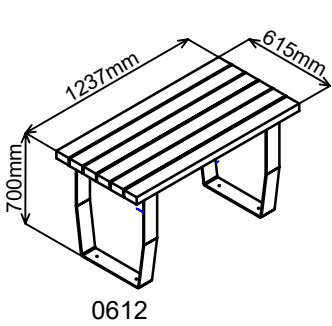


■安全上の注意事項

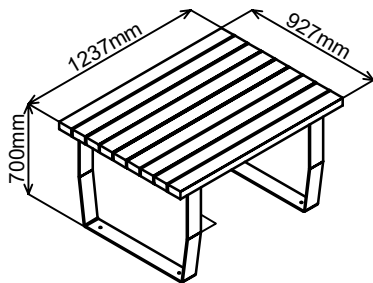
- ・テーブルに登ったり、飛び跳ねたり、背もたれ部分に座ったりしないでください。
- ・傾斜や段差のある不安定な場所で使用しないでください。
- ・隙間に手や足を入れないでください。
- ・芯棒打込み式アンカーで固定しない場合、風や地震等の外力でテーブルが転倒、滑動してしまう可能性があります。  
テーブルの転倒や動いたことによる事故や破損については当社で責任を負うことができません。
- ・強い振動、衝撃のあるところで使用しないでください。
- ・横から衝撃を加えないでください。テーブルが揺れる恐れがあります。
- ・テーブルは夏期の直射日光下で表面が高温になる場合がありますのでご注意ください。
- ・ファンダライン「ルーシーベンチ」または「ルシアンベンチ」を組み合わせて使用する場合は180mm以上を推奨幅としています。  
以下の配置図を参考としてください。



■姿図



0612



0912




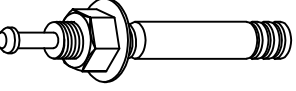
■部材一覧

- 開封時に種類と数量を確認してください。  
(ボルト類の袋の内容も確認してください。)
- 商品に異常がないか確認してください

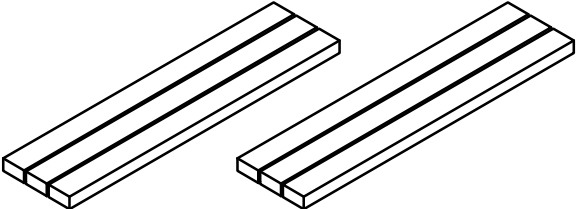
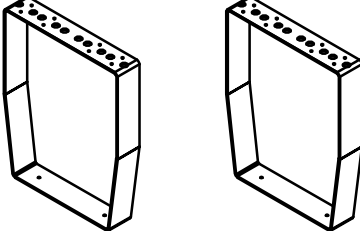
ご準備いただくもの

- M8用ソケットレンチまたはスパナ
- スケール
- ハンマー（芯棒打込み式アンカー用）
- Φ8.5コンクリートドリル（芯棒打込み式アンカー用）
- 集じん機、ブロワー（芯棒打込み式アンカー用）

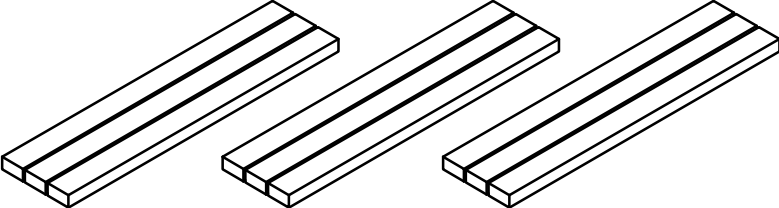
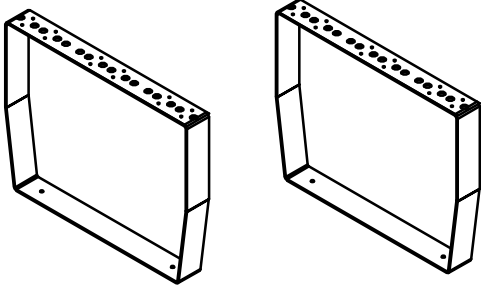
■梱包内容（共通部材）

金物セット			
			
袋ナット ×13個	スプリングワッシャー ×13個	ワッシャー ×13個	芯棒打込み式アンカー ×4個

■梱包内容（ミラテーブル0612）

テーブル天板ユニット ×2（2梱包）	テーブル平支持脚A ×2（2梱包）
	

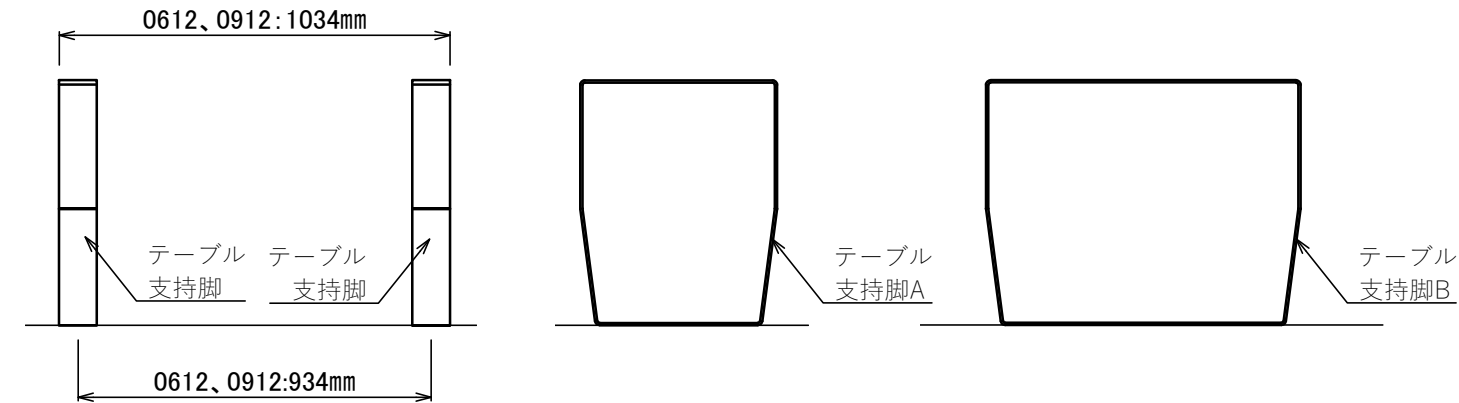
■梱包内容（ミラテーブル0912）

テーブル天板ユニット ×3（3梱包）	テーブル平支持脚B ×2（2梱包）
	

■施工手順

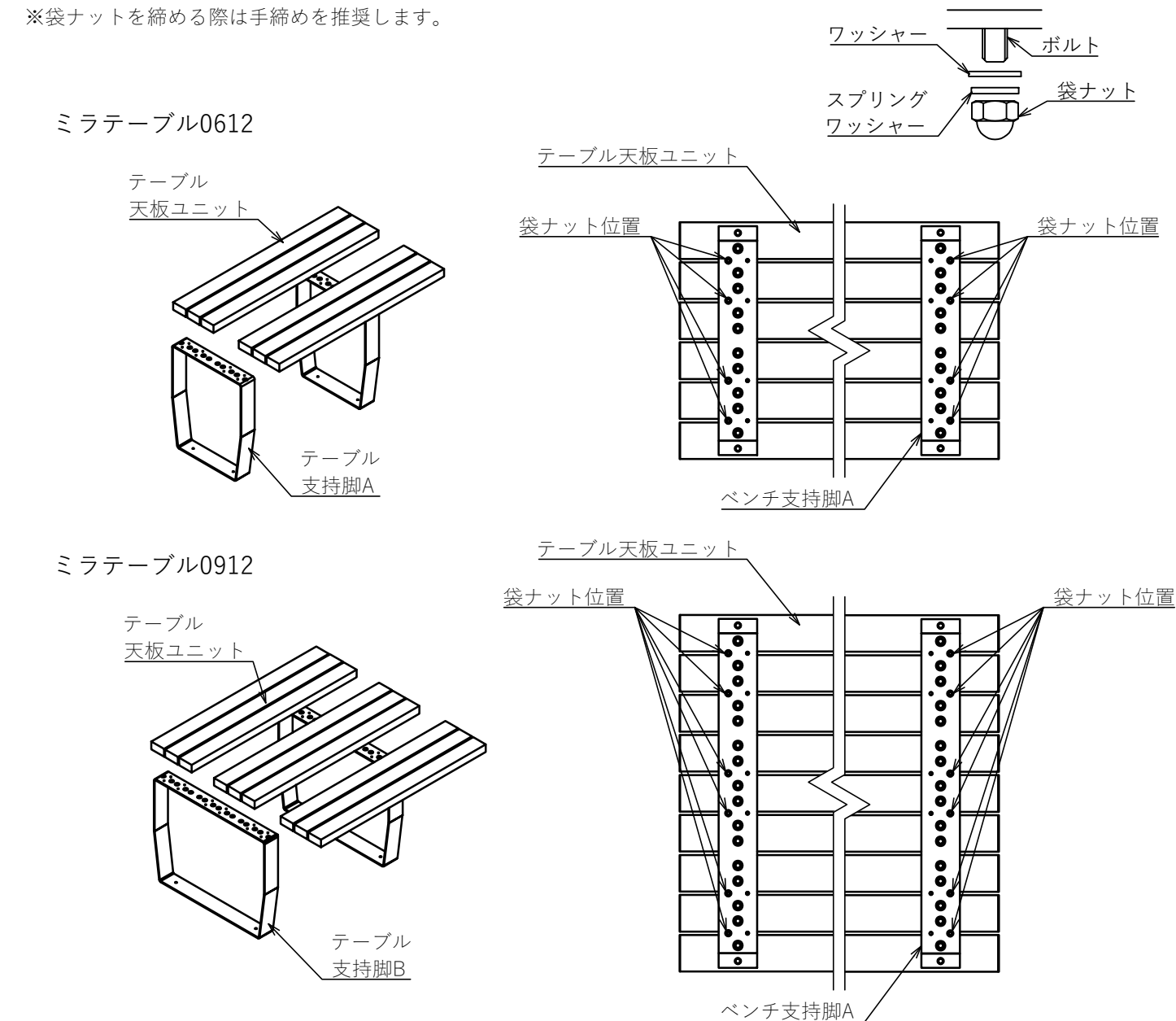
手順1 支持脚を配置

- テーブル支持脚を下記の位置に仮置きしてください。  
既定通り置くことにより天板ユニットの設置が簡易になります。
- 支持脚の下にごみや砂などが入らないように気を付けてください。



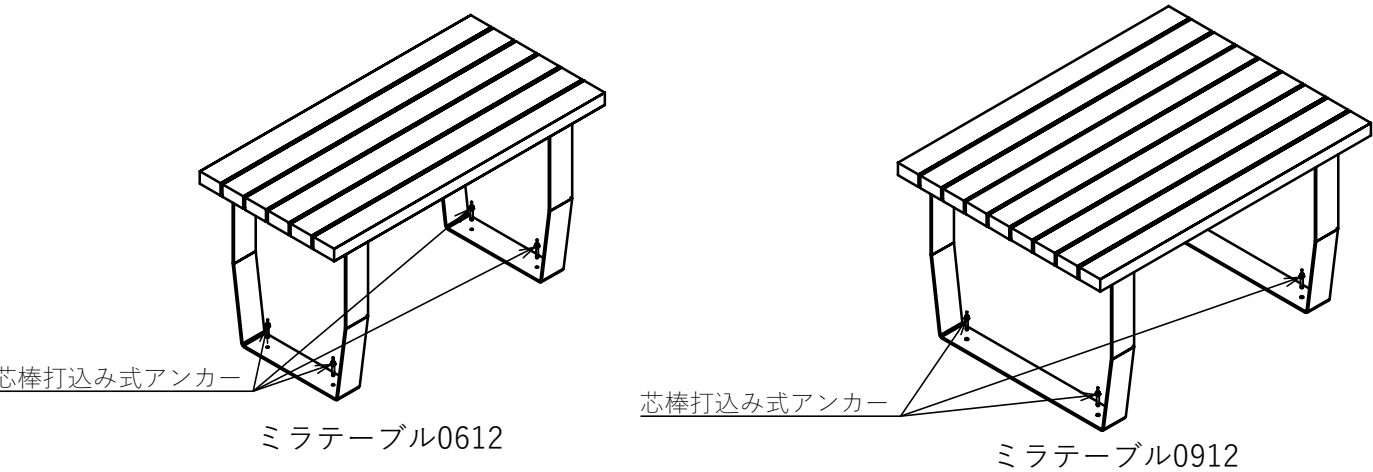
手順2 天板ユニット設置

- 天板ユニット裏側からボルトが出ていますので、支持脚の外側の穴に合わせて天板ユニットを支持脚に設置してください。  
天板ユニットに方向はありません。
- ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順でナットを締めてください。  
※袋ナットを締める際は手締めを推奨します。



手順3 芯棒打込みアンカー設置

- 支持脚底面に空いている穴の位置に芯棒打込み式アンカーを設置してください。  
※芯棒打込み式アンカー施工時にテーブルに傷をつけないよう、注意して施工を行ってください。



手順3-1 穿孔

- 芯棒打込み式アンカーを設置する位置に、Φ8.5のドリルを使用してコンクリートを深さ40mmで穿孔してください。  
※付属している芯棒打込み式アンカーはコンクリートに40mm埋込む必要があります。

手順3-2 孔内清掃

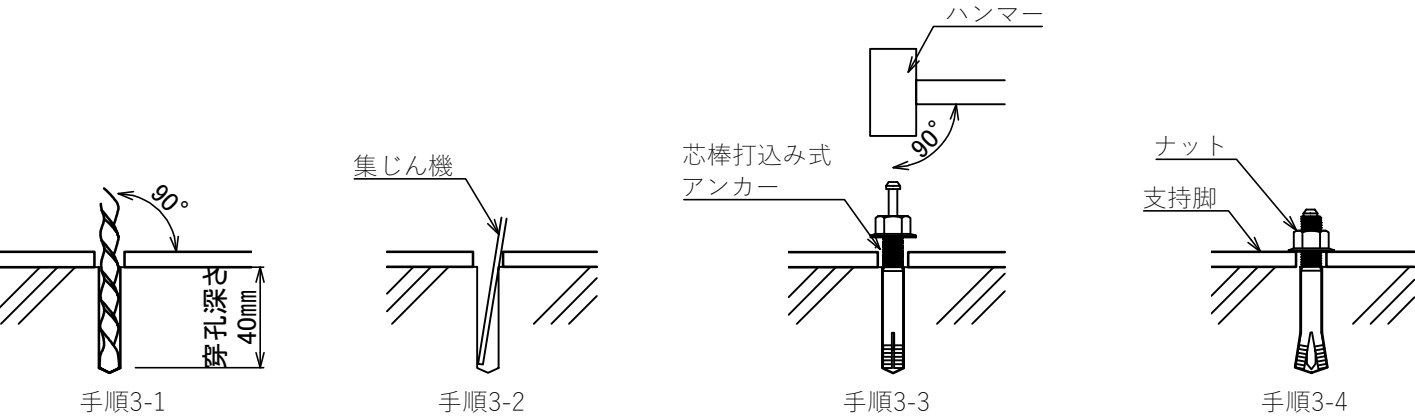
- 集じん機やブロワーなどを使用して孔内の切粉を除去してください。

手順3-3 打設

- ナットを緩めた状態で芯棒打込み式アンカーを奥まで設置し、ハンマー等でアンカーを打設してください。

手順3-4 取り付け

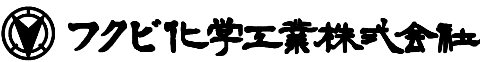
- 芯棒打込み式アンカーのナットを締め取り付けてください。



手順4 ナット等ゆるみ確認

- 設置した袋ナット、芯棒打込み式アンカーに緩みがないか、再度確認してください。  
※袋ナット、芯棒打込み式アンカーが緩んでいると、ケガやベンチの破損などにつながる場合があります。

●お問合せ



事業開発本部 まちづくり事業推進室  
〒140-8516  
東京都品川区大井1丁目23番3号  
TEL :03-5742-6321  
MAIL:gksgrs@fukuvi.co.jp